

土・まち・みどり

通信 第49号

2012.11.1

発行 NPO 法人土とみどりを守る会

連絡先 6421-2118 (事務局)

CONTENTS ◆まちめぐり ◆おくさわ今と昔 ◆街の落ち葉掃きプロジェクト ◆奥沢文化祭
◆活動報告 ◆会からのお知らせ

秋のつどいレポート

まちめぐり

(江戸から明治へ～矢倉沢往還、 新町村、呑川、駒沢給水塔)

今年は少々暑い中、関東で一番早く1912年(明治45年)に大規模住宅開発地として売り出された「桜新町住宅地」を中心に歩きました。参加者は15名でした。

「新町住宅地」は約23万㎡(東京ドーム5個分)あり、「東京の軽井沢」というキャッチフレーズで分譲されました。1907年に開通していた玉電から電力供給を受け、諸設備が完備され百数十区画が売り出されました。開発したのは三井財閥系の東京信託(現日本不動産)で、その事務所跡は長谷川町子美術館と交番の間にあり、現在桜新町区民集会所等に利用されています。1912年(明治43年)大阪の箕面有馬電鉄(現阪急)池田の室町分譲住宅が日本最初の分譲地として売りだされたばかりでその後直ぐ新町分譲地が出来ました。

ここは東京信託が駒沢村深沢と玉川村下野毛飛地を高級分譲地として開発したもので、どちらかという通勤用の住宅地というより郊外型の高級分譲住宅地として、いわば別荘的な家として使われていたようです。

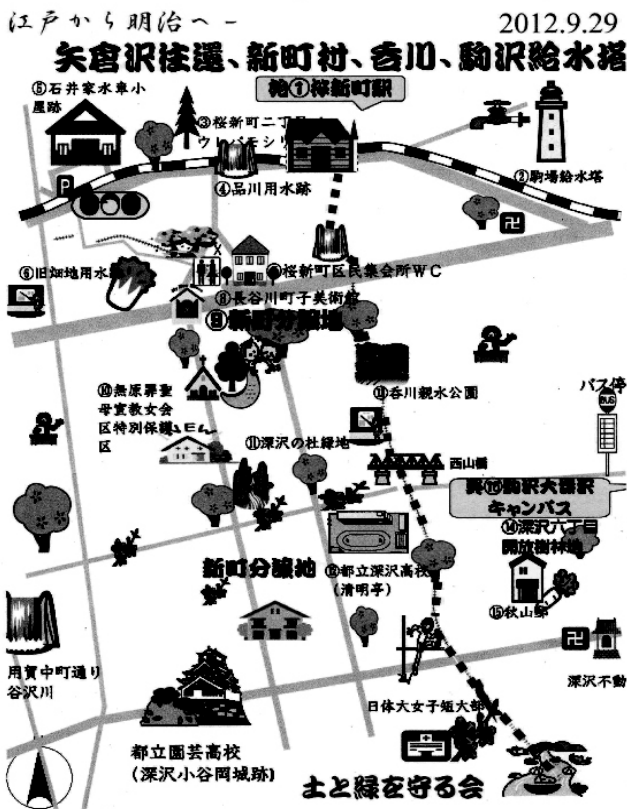
関東配電(現東電)社長の若尾邸(約3000坪)は無原罪聖母宣教会の修道院と幼稚園に、わかもと製菓創業者長尾邸(約薬7000坪)は都立深沢高校(今も清明亭が残る)等今も形を変えて利用されています。更に周回道路に1000本の桜が植えられ、玉電新町停留所が桜新町駅になり、昭和43年住居表示実施に伴う町区域の変更で桜新町1・2丁目になりました。

当日は桜新町駅から水道道路を通り、駒沢給水塔を訪ねました。周り一周し、遠くキャロットタワー迄道路が一直線になって坂を下っているのを確認し、明治の先人の知恵に感心しました。多摩川の下

砦城趾状のポンプで弦巻の丘迄押し上げられ、渋谷町まで自然の力でながされました。現在は非常時用になっています。

続いて品川用水路跡を辿り、かつて水車小屋があった石井邸を外から見学、旧大山道(矢倉沢往還)の信号を渡り、昔の用水跡であり、且つ呑川水源の一部であった桜新町1丁目をいくつかの生産緑地を見ながら通過、区民集会所でトイレ休憩して長谷川美術館前を通過、246号線を渡り、「新町分譲地」の桜並木を周回、無原罪特別保護区をチラ見して清明亭外観を見学、更に御嶽橋を渡りながら呑川親水公園を横に見て、深沢6丁目の秋山邸・農園等を見学後、駒沢大学深沢キャンパス停前で解散しました。

(赤松)



おくさわ今と昔

(このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方、新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、この街にちなんだエピソードを語っていただきます。)

「小さな思い出」

奥沢2丁目 山中雅之

私の幼少期の奥沢周辺について、思い浮かぶ事を書いてみました。今では三輪車などあまり街では見かけなくなりましたが、当時、幼稚園児は殆ど三輪車に乗って公園に行ったり、空き地へ行って遊んだものでした。

そんなある日のこと、愛車の三輪車で仲良し園児同士で連れ立っていった初めての遠乗り。親からは、遠くまで行っちゃだめよ。5時になったら帰ってきなさいよといつも出るのはその言葉。それを押し切って皆で決行したあの日。皆が大事そうに手にしていたのは、カブトムシの幼虫引き換え券。当時、カブトムシやクワガタを持っていたら、ちょっとした自慢でした。行った先は奥沢のサンマート。当時私は石川台に住んでおり、サンマートまで三輪車で行くのは、園児にとっては小旅行のようなもの。サンマートは現在のトップの場所で、横にある短いスロープにペットショップがあったと思います。店内は薄暗い蛍光灯が照らしており、沢山の水槽に金魚や熱帯魚、亀や爬虫類等の生き物もいた様に記憶しています。そこで引換え券と交換し、ビニール袋に入れてもらい、三輪車のハンドルに括り付け、宝物を手にした満足感とともに帰ろうとした時。帰り路を忘れてしまい、暮れゆく夕陽の中、今にも泣き出しそうな私達に優しく声を掛けてくれたのが、確か諏訪山通りの靴屋さんでした。僕たち何処から来たの？わからない、お家に帰りたい、と泣いていたと記憶しています。でもお店の人はすぐ電話をかけてくれ、間もなく各自の親が迎えにきました。今から思うと、親が三輪車に住所と電話番号を書いていたからだったんでしょうね。親って有難いですよね。迎えが来たときの、黙って遠くに来た事への反省、家に帰れる事、何より親に会えたという言いようのない安堵感は今でも忘れられない思い出です。

今回、長く封印されていた思い出を思い起こすきっかけを作って頂いた事に感謝しております。そして現在、この奥沢の地で「奥沢やまなかクリニック」を営み、生活する事ができるのも何かの縁。感謝、感謝です。

「奥沢に生まれて」

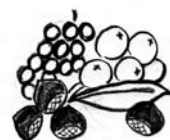
奥沢5丁目 平松 久幸

私は昭和39年、東京オリンピックの年に奥沢に生まれました。祖父がこの土地で理容店を開業し、父も2代目として家業を継ぎました。そして私も家業を継ぐため、7年間他の土地で修業をし、いよいよ自分の育ったこの奥沢に戻り、3代目としてお客様の大切な髪を触らせていただき22年の月日が流れました。

思い返せば、先代から受け継いだ店とはいえ、こんな若僧を温かく受け入れて下さった、奥沢の皆様には感謝せずにはられません。私のサロンには祖父の代のお客様が、息子さん、お孫さんと私と同じく3世代にわたりご来店して下さる方が大勢います。凄い事だと思いませんか。また、半世紀以上、足を運んで下さる方もいらっしゃいます。

先日享年70歳で他界された地井武男さんもその一人です。地井さんは20歳のころ俳優学校に通うため上京し、この奥沢に15年間住んでいらっしゃいました。よく当時の話をして下さいました。桜の木や柿の木、びわ、栗、みかんの木が庭にある家が多かったそうです。奥沢神社には何かあるごとにお参りしたそうです。奥沢を離れてからも御嬢さんの七五三など足を運んだそうです。そういえば「ちい散歩」で2回ほど奥沢を紹介していましたよね。地井さんも奥沢を愛した一人だったのですね。私に息子が生まれてからは「4代目にカットしてもらうのが楽しみだな」と口癖のようにおっしゃっていました。今では叶わぬ夢になってしまいました。

取り留めのない話をしましたが、この町は何ていい町なんだろうと心から思います。長年ここに住んでおられる方も、新しく縁あって移りすまれた方も、大好きな町だと思います。これからもそんな素晴らしい方たちに触れながら、また次の世代へと奥沢を伝えていかれるよう頑張ろうと改めて思います。



平成24年度街の落ち葉掃きプロジェクトについて

地域の皆様、街の落ち葉掃きに参加しませんか。落ち葉掃き、落ち葉の利用、落ち葉掃きに関連したイベントで地域の絆を深めましょう。

土とみどりを守る会は新しい活動として、世田谷区の「地域の絆推進事業」の助成を受け、奥沢交和会、玉川まちづくりハウスのご協力を頂き、「街の落ち葉掃きプロジェクト」を行っています。

奥沢の街は道路から見える大きな樹木が多く、安らぎの景観を与えており、住民の方々は日頃より落ち葉掃き等道の清掃に努めておられ、清潔な街を維持しておられます。

しかしながら近年住民の高齢化が進んでおり、落ち葉掃除の負担が大きくなりつつあると思われます。そのため庭木の落ち葉が道路に散乱し、ご近所のご迷惑となり樹木を切らざるをえなくなる恐れも否定できません。

そのよな樹木を維持するために庭木の恩恵で良好な住環境を享受する住民有志が、落葉の時期だけでも一緒に道路の落ち葉を掃き、庭木所有者の気苦労を少しでも軽減できればと思っています。

前年度迄に得たノウハウを生かし今年度は地域拡大して実施を図ると共に、落葉から得た腐葉土を利用した緑化も試みます。

またこれらの作業活動に加え、住民の方々に、落ち葉掃きや緑化に関連する文化活動へ参加して頂き、交流を深めることを通じて地域の絆を強めて行きたいと思えます。

本年度は日頃の活動を、落ち葉掃きによる地域の絆推進に焦点を当てると共に、奥沢交和会等が関わる地域の行事に積極的に参加しようとしています。

関連するイベントのスケジュールを、既に実行済みの分も含め下記に示します。

特に本年度は、奥沢交和会や奥沢小学校との連携を図ろうとしています。

11月から来年初めにわたり予定がぎっしり詰まっています。どうか本プロジェクトへの理解を賜り、行事への参加やご支援をお待ちしています。(鈴木)



行事名	活動の内容	月日	時間	場所
奥沢文化祭	落ち葉掃きプロジェクト紹介	10/20-21	10:00-17:00 (16:00)	奥沢区民センター
シンボルフラワープランター (チェリーセージ)	落ち葉から作った腐葉土を使ったプランターの土換え	10/27、10/28、 11/5	9:00-16:00	奥沢2丁目
落ち葉掃きの実施	新規；奥沢3丁目、奥沢小学校生徒のボランティア参加を 検討中	11/20、27、12/1	7:30-8:30	奥沢小学校周辺、 奥沢3丁目
	継続；奥沢2丁目	11/23、12/2、 12/8、12/9	7:30-8:30	大ケヤキの散歩道 九品仏川緑道
講習会	落ち葉からの土づくりの指導	11/8	9:30-11:00	奥沢交和会館
晩秋のつどい	お話：「まちを守る樹木のはたらき」、コンサート：ピアノとお話「葉っぱのフレディ」	11/25	13:30-16:30	奥沢地区東会館
新春奥沢地区祭り	落ち葉掃きプロジェクト報告、落ち葉から作った腐葉土を使ったチェリーセージポット配布	1/20	9:00-14:00	奥沢中学校
早春のつどい	落ち葉掃き関連のお話とコンサート(計画中)	1月末又は2月初め	未定	未定

第 16 回奥沢文化祭参加の報告

2回目の参加です。今回はロビーに移りました。メイン通路なので期待が膨らみました。

今回は展示物を止め、パネル2枚一杯に写真を展示することにしました。結局は事務局のご厚意で和室用の机を貸していただき、パネルを広く使えました。

展示はパネルの上部半分をウォームシェアのロゴマーク、フラワーアレンジメント、落ち葉掃き、堆肥作り等の写真をラミネート加工して貼りました。

下段には、ミニ園遊会で写真発表した東北被災地1年後の姿を焼き直し、貼らせていただきました。

石巻港・大川小学校・桃の浦・雄勝等の石巻市から女川町・防災対策庁舎の鉄筋だけが残る南三陸町・駅前に1千トン級の貨物船を残す気仙沼市・一本松の陸前高田市に至る迄、総てが根こそぎにされた被災地が未だガレキを片付けただけの焼け野原状態であることが分かります。

現地で家族を失われた方をはじめ多くの方々が足を止めて見入っておられました。中には「現地に行かれたのですか？」等質問される方々や現地新聞社

発行の写真誌を手に取り、頁を捲る方々もいらっしゃいました。

今年はチラシを置くだけにした世田谷の風景資産申請（奥沢城と常盤姫の鷺草物語を計画中）について、来年は展示のメインにしたいと考えています。

(赤松)



(展示風景 準備完了)

活動報告

●世田谷区が第3回地域風景資産の選定を開始しました、平成25年度にかけて選定作業が行われます。大ケヤキのある散歩道（第1回）、奥沢海軍村ゆかりの風景（第2回）に続き、当会としては、奥沢城、鷺草、常盤姫をキーワードにした「奥沢城と鷺草伝説」（仮題）を選定に向け取り進めることにしました。これから関係する方々のご相談し、2丁目主体の活動地域を拡げるきっかけにしていきたいと思っております。

●秋のチェリーセージのメンテナンスを10月27日と28日に実施しました。今年の猛暑のためか枯れたり、弱っている鉢も多く剪定・土替えに時間がかかりましたが、花の赤味がいつもより濃い感じでした。

会からのお知らせ

●晩秋のつどいは11月25日（日）午後1時30分から、奥沢東地区会館で開催します。第1部・お話は、森林再生で著名な宮脇昭先生が所長をしている国際生態学センター研究員の矢ヶ崎朋樹さんの「まちを守る樹木のはたらき」、第2部・おくさわコンサート「葉っぱのフレディ」をテーマにした吉原重代さんのピアノ演奏とお話です、行く秋を楽しく味わいましょう。（詳細はチラシ等でご案内します。）

●第3回フラワーアレンジメント講習会を、11月17日（土）午後1時半から、奥沢東地区会館で行

います。（詳細はチラシ等でご案内します。）

●土とみどりを守る会はいつでも新会員を募集しています。会の活動を支える会費は1口1,000円です。どうぞご協力をお願い致します。入会のご相談は下記へお寄せ下さい。

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-32-11 堀内正弘 5701-5901

世田谷区奥沢 2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

世田谷区奥沢 2-18-6 鈴木 仁 3723-6659

ホームページ : <http://tsuchimidori.net>

e-mail : info@tsuchimidori.net

このニューズレターの一部は平成24年度地域の絆推進事業の助成を受けています。